

2017年9月28日

総選挙の対応について

民進党常任幹事会

- 一、今回の総選挙における民進党の公認内定は取り消す。
- 二、民進党の立候補予定者は「希望の党」に公認を申請することとし、「希望の党」との交渉及び当分の間の党務については代表に一任する。
- 三、民進党は今回の総選挙に候補者を擁立せず、「希望の党」を全力で支援する。

以上

民進党所属 自治体議員の皆様へ

平素より、地域において民進党を支える活動を懸命に行っていたに心より感謝申し上げます。民進党が大変厳しい環境にあっても、皆様が歯を食いしばり、血のにじむような活動があるからこそ、私たち国会議員の活動が続けられるものと、常日頃、肝に銘じています。重ねて感謝申し上げます。

本日9月28日の両院議員総会において、添付「総選挙の対応について」を議決いたしました。これは党規約第8条第2項に基づく、党大会の議決に代わる議決となります。これにより、民進党は今回の総選挙に候補者を擁立せず、立候補を予定していた皆さんは「希望の党」に公認を申請することとなります。民進党に残る自治体議員の皆さん、参議院議員、そして党员・サポーターには、「希望の党」を支援して頂きたいと思っております。私自身は民進党に残ります。そして、選挙後に、民進党に残った仲間、「希望の党」から立候補した仲間が、共に行動していける環境を、民進党代表として全力で作ってまいります。

この決定に至るまで、代表として大変悩みました。私が代表に選出されたのは9月1日であり、それから1か月も経過していません。この僅かな期間で、こうした重大な決定を行うことを逡巡もしました。しかし、党の現状や「希望の党」結党による政治地図の変化を冷静に考えたとき、現状のまま総選挙に突入すれば、離党者の続発などにより極めて厳しい結果になることは明らかです。自治体議員の皆様のご懸命の努力の結果、民進党のままでも選挙で一定の結果を見込める地域もあります。一方で、壊滅的な打撃を受ける地域も想定されます。私は民進党に誇りを持っています。国会議員の仲間、自治体議員の仲間を信頼し、党员・サポーターの皆様にご心より感謝しています。これまで積み上げてきた政策に自信を持っています。これらは一体のものでなければなりません。地域ごとに異なる対応を取る、という選択肢はありませんでした。

今回の決定の目的は、この総選挙で安倍政権を終わらせることです。二大政党制を確立し、政権交代を通じて民進党が目指す社会を実現するための土台を強化することです。代表選挙で皆様にご理解いただいた「All for All」をはじめ、民進党の理念や政策を曲げるものでもありません。私たちは、これまでと同様の理念、政策を、これまで以上の力をもって国民の皆様にご訴えていくのです。

今後の民進党の在り方、自治体議員の皆様に関する事などは、選挙後、皆様のご意見を真摯に受け止め、丁寧な議論を通じて決めてまいります。皆様のご政治活動が安定的に継続できるよう、できる限りの措置を講じてまいります。

こうした状況の中で大変申し訳ありませんが、まずは目の前の総選挙に勝利することが重要です。これまで以上に、各地域における「希望の党」候補者の活動支援、そして「希望の党」の党名浸透活動にお取り組み頂けますよう、お願い申し上げます。

文末ではありますが、皆様のご健勝とさらなるご活躍を祈念しております。

2017年9月28日
民進党代表 前原誠司